

▽ お そくびる
呉 錫畢教授 SUK-PIL OH



学 科: 地域環境政策学科

担当科目: 環境経済学Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、環境政策論Ⅰ、環境経済特殊研究(大学院)

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】、②【学 位】、③【所属学会】、④【主要な社会的活動】

- ① 1990年：東京大学（院）農業経済学専攻修士課程修了（農学修士）。91年：同大学院博士後期課程退学、92年：北海道大学（院）環境科学研究科博士後期課程に入学、95年：修了、博士（環境科学）。
- ② 博士（環境科学）：『日本における環境汚染と持続可能な経済成長に関する研究』
- ③ 環境経済政策学会、日本経済政策学会、環境科学会
- ④ 「多自然型河川改修事業に係る検討委員会」委員（2012.12～2014.3）、
「資格教育課程審査常任委員会」委員（2011.4～2019.5）
「沖縄県学生ゴルフ連盟理事」、2014.4～
「真志喜中学校評議員」（2008.5～2010.3）

研究業績等【主要論文及び主要著書】

<主要著書>

- * 『環境政策の経済分析』、日本経済評論社、1999、(単著)
- * 『環境・経済と真の豊かさ』、日本経済評論社、2008、(単著)
- * 「済州特別自治道の現在・展望及び考察—済州の新たな挑戦—」、『沖縄自治州—特例型沖縄単独州を求めて—』、琉球書房、2013、(共著)
- * 「「エコアイランド宮古島の挑戦とその可能性」、沖縄経済環境研究所叢書、
『宮古の挑戦—エコアランドによる地域活性化—』、2016、(共著)

<主要論文(単著)>

- * 「国立諫早湾干拓事業と地域発展に関する一考察」、沖縄国際大学、経済論集第7巻第1号、2018。
- * 「韓国の泰安（テアン）沖における油流出事故の状況とその対策」、沖縄国際大学、南島文化研究所、地域研究シリーズ No.44、2018。

研究分野

環境の経済評価、コモンズと地域発展、入会と環境保全、干潟の経済学分析

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1.教育活動・方法の実践例		
1) 環境経済学Ⅰ・Ⅱ	2005年4月～	地球温暖化の問題が大きくクローズアップされている今日、何が環境問題をもたらしたか。やはり、その原因は経済要因にあることを理解する必要がある。本講義は単なる教室での授業で終わるのではなく、自ら考えて原因を探るレポートを、環境と経済問題に直面している地域を対象として調査を通して考察してもらう。
2) 地域セミナーⅠ・Ⅱ	2011年4月～8月	環境問題や経済問題の本質を体験的に考察するところに重点を置く。まず、自分が住んでいる地域の経済や環境、歴史等を取り上げ、地域とは何かから始まる。そして、沖縄において最も興味がある地域を選定し、経済と環境の視点から課題について資料から考察する。そして、その現地で五感を通して確認し、さらに地域とかかわる人から説明を受けながら討論を行う。最後はいままで感じてきたことをレポートで作成し、プレゼンを行い、地域が抱えている問題、課題等についてディスカッションを行い、問題意識を培う。
3) 研究生、科目等履修生、特別聴講生などの受入・世話役	2008年4月～ 2009年1月 2017年4月～2018年3月	1名（科目等履修生）受講した後：2009年4月大学院修士課程へ入学 留学生1人
4) 修士論文審査	1997年4月～	主査として12名が修了。
2.作成した教科書、教材、参考書		
<教科書>		

1) 環境経済学 I・II	2008 年 『環境・経済と真の豊かさ』、日本経済評論社。	研究等で発表したものに基づいて書いた著書で、環境経済学の教科書としても使われている。
2) 環境政策論 I	1999 年 『環境政策の経済分析』、日本経済評論社。	日本の高度経済成長期間中に環境問題を解決してきた原因や要因を経済学の視点より分析した著書で、環境政策論の参考書として使われている。
<参考書>	2016 (共著) 宮古の挑戦—エコアイランドによる地域活性化—	離島の宮古島を事例として、環境問題を地域の基幹産業であるサトウキビ、また太陽光などの自然再生エネルギーを持って地域活性化を図る宮古島について考察する。
3.学生支援活動	2013 年～	演習 I で離島への教育ボランティア活動において、学生らが先方の小中学校で活動しやすい環境作りを行う。
4.学外での教育活動		
1) 札幌学園大学(集中講義)	2009 年 8 月 24 日～28 日	
2) 沖縄 JICA (国際協力機構) 外部講師	2005 年～2008 年	東南アジアからの研修生を対象とした講義
3) 全南大学特別講義(韓国)	2014.11.5	第四回国立公園研究フォーラム (ムドン山国立公園新規指定効果)
4) アジア文化研究院(パネリスト)	2017.12.9	第 8 回国際学術セミナー
5.教育改善活動	毎年	学生による授業評価アンケート調査において、評点と意見を踏まえて授業改善を図る。
6.その他		
1) 宜野湾市立真志喜中学校評議員	2008 年 5 月～2011 年 3 月	大学で研究してきた環境に関する知識を中学校で情報を提供し共有する。
2) エコアクション 21 地域	2010 年 12 月～2012	地域に二酸化炭素排出量の削減など環境問

運営委員委員長	年 12 月	題に具体的な行動を拡大させることを狙う。
3) 資格教育課程審査常任委員会委員	2011 年 4 月～2019 年 5 月	大学の資格教育課程の審査
4) 多自然型河川改修モデル事業に係る検討委員会	2012 年 10 月～2014 年 3 月	
5) 韓国南島民俗学会理事、編集委員	2016 年 3 月～	

【E メール・ホームページ等】

sukpil@okiu.ac.jp

<https://researchmap.jp/read0188330/>

平成 30 年 4 月 16 日現在